



自治の精神高らかに

秋田大学教育文化学部附属中学校
令和2年5月25日 発行 No. 1 文責 櫻庭

「当たり前」ではなく、「有り難い」日常生活…

学校を再開して3週間目になりました。先が見えない毎日ですが、見えないからこそ、見えてくるものもあります。

右の写真は、朝、担任の先生を取り囲んで楽しそうに会話している生徒の様子です。毎年、1年生の教室では当たり前のように見られる光景です。見ていて何だか心が温かくなりました。これまで「当たり前」だと思っていたことが、実は「有り難い」ことなのだと再確認することが多い毎日です。今週も「有り難い」ことを数多く見つけたいと思います。



▲担任の先生と談笑する1年生

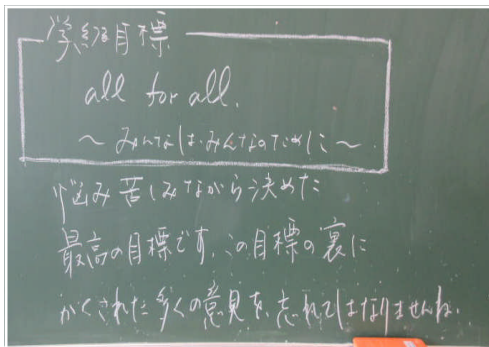


▲女バスの部室黒板のメッセージ

出会いたい生徒①＝主体性をもって挑戦する生徒

先日、部室棟を巡回していたら、左のメッセージが目にとまりました。「全国制覇」「We can do it」私たちがならできると信じて努力してきた生徒は、全国、東北、全県大会が中止となった今、どんな思いで、何を目標にして日々練習に取り組んでいるのでしょうか。

野球部の練習着の背中には、「毎日が中総体」と書かれています。3年生には、毎日を中総体のつもりで燃焼してほしいと願っています。新たな目標を設定し、主体性をもって挑戦してくれることを期待しています。



▲黒板に書かれた担任のメッセージ

出会いたい生徒②＝批判的思考力を発揮する生徒

本校の朝の黒板には、担任の先生方の生徒への温かいメッセージが書かれています。文字にも内容にも持ち味が表れており、私は、それを読んでいる生徒の後ろ姿を見るのをいつも楽しみにしています。左の写真の黒板には、担任の先生が「目標の裏にかくされた多くの意見を忘れてはなりませんね。」と書いています。批判的思考力の基盤は、他者の意見や思いを大切にすることです。「みんなは、みんなのために」素敵な学級目標ですね。

出会いたい生徒③＝使命感をもって行動する生徒

毎朝、私が感心しているのは、多くの生徒が手指消毒を忘れずに校内に入っていくことです。「使命」とは、自分のなすべき任務を果たすことです。常に附中三精神の一つである「責任」を意識している本校の生徒たちにとって、自分のためだけでなく、他者のために「新しい生活様式」を実践することは、当たり前のことのようにです。生徒たちは、委員会活動や清掃活動などにも使命感をもって毎日取り組んでいます。頼もしいかぎりです。



▲昇降口で手指を消毒する女子生徒

「附中三精神」を日々の行動で示そう



▲モニュメントに刻まれた附中三精神

本校の前庭には、左のようなモニュメントが設置されています。この三精神は、本校の卒業生や在校生の心の支柱になってきたものです。私が教諭として勤務していたときの生徒たちも、この三精神を意識して生活したいと願っていました。

しかし、「意識すること」と「実践すること」は全く別のことです。これから新型コロナウイルス感染症とともに生きていくことになる生徒たちには、意識していることを実践できるようになってほしいと願っています。



▲分散登校で昼から登校する2年生

「自発」は、爽やかなあいさつで

ソーシャルディスタンスを意識して、一人で登校する生徒が多いですが、一人でも笑顔でさわやかにあいさつしてくれる生徒がたくさんいて、とてもうれしく感じています。あいさつは、自分さえその気になれば、誰でもすぐにできることです。まさに、自発の精神を発揮すればできることです。

人と人の距離を保つことが求められている今だからこそ、人と人の心の距離を縮める爽やかなあいさつを大切にしたいと思います。

「創意」は、活発自由な話合いで

今、1、2年生は、毎日オンラインによる授業に取り組んでいます。その授業の中で、生徒がチャットに書き込むつぶやきを見て、先生方が次のような願いを話していました。「生徒たちが心の中に抱えているあの声を、対面授業の中でも発することができるようにしたい。」

本校の先生方は、情熱をもって授業づくりに取り組む先生方ばかりです。きっと生徒の心をつぶやきを受け止めようと努力するはずですが、生徒のみんなも、活発自由な話合いで、その思いに応えてほしいと思います。

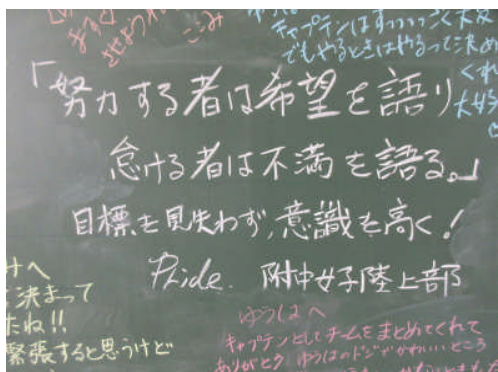


▲オンラインで実施している授業

「責任」は、たゆまぬ努力で

本校の陸上部は、輝かしい実績を残してきています。それを支えてきたのがこの言葉なのですね。「努力するものは希望を語る。」確かに、これまで出会った努力を惜しまない生徒たちは、常に明るい表情で、生き生きと希望を語っていたような気がします。

人には、自分が親から授かった才能を伸ばし、個性を磨く責任があります。陸上部のように、たゆまぬ努力を重ね、毎日明るく希望を語り合ってほしいと思います。



▲附中女子陸上部の部室の黒板

SNSが普及し、世界でも日本でも若者達が発するメッセージが、社会を大きく動かすことも少なくありません。この通信名は、小さな力でも一つにまとまって活動すれば、学校生活も充実していくことを生徒に経験してほしいと願って命名しました。自治の精神が大きく飛翔することを期待しています。